

# せたな町総合計画策定審議会 第2回産業経済専門部会

と き / 平成19年7月30日(月) 午後3時～  
ところ / せたな町役場第3会議室

## 次第

- 1 開会
- 2 開会あいさつ 産業経済専門部会部会長
- 3 協議事項 (1) 前回協議事項の確認  
(2) 計画本体枠組みの確認
- 4 その他
- 5 閉会

せたな町総合計画策定審議会「産業経済専門部会」委員名簿

	氏 名	役 職	出欠
部会長	齊 藤 誠	ひやま漁業協同組合副組合長 (瀬棚区)	
副部会長	内 田 尊 之	元北檜山町商工会副会長 (北檜山区)	
委 員	三 上 博 則	せたな町農業委員会会長 (北檜山区)	
委 員	加 藤 始	北檜山町農業協同組合常務 (北檜山区)	
委 員	正 木 孝 義	新函館農業協同組合若松支店長 (北檜山区)	
委 員	奥 村 喜美男	せたな町議会議員 (大成区)	
委 員	佐 藤 昌	ひやま漁業協同組合大成支所長 (大成区)	
委 員	光 錢 浩	大成町商工会青年部 (大成区)	
委 員	二本柳 均	新函館農業協同組合元瀬棚支店長 (瀬棚区)	
委 員	稲 船 国 晃	せたな町商工会瀬棚支所青年部長 (瀬棚区)	

せたな町

	氏 名	役 職	出欠
策定委員長	道 高 勉	副町長	
策定副委員長	久 保 一	教育長	
策定副委員長	越 野 邦 夫	大成総合支所長	
策定副委員長	小 林 義 悦	瀬棚総合支所長	

事務局

	氏 名	役 職	出欠
	成 田 円 裕	政策調整課長	
	福 土 裕 継	政策調整課長補佐	
	吉 田 有 哉	政策調整課まちづくり推進係主任	
	白 戸 威 仁	政策調整課まちづくり推進係	

協議事項(1) 前回協議事項の確認 (概要一覧)

農林業関係

	検討項目	将来展望の主な内容(項目)	主な意見(確認事項)
1	農業基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産性の高い土地改良の推進</li> <li>畑地かんがい施設の維持管理</li> <li>土づくりによる生産性の向上</li> <li>農用地利用の促進</li> <li>農道の整備</li> </ul>	
2	農業経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業推進体制の充実</li> <li>ニーズに応じた農畜産物の生産</li> <li>農産物防疫対策の強化</li> <li>法人設立支援</li> <li>経営支援システムの育成</li> <li>担い手対策</li> <li>アグリビジネス等の振興</li> </ul>	<p>法人経営育成の中で、農業法人が参入した場合と個人農家への支援を分けて整理する。</p> <p>稲作農家の法人化を視野に入れた支援を考えないと、将来的に農業力が低下する。町がリーダーシップを取り対策を講じるのか～農協と協力しバックアップしたい。</p> <p>アグリビジネスの振興とあるが、具体策は～現在はないが、先進地を例にすると、せたな町では観光とのタイアップが考えられる。</p>
3	農業環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地農村景観等の保全活動の推進</li> <li>農業系廃棄物の適正処理、有効活用</li> <li>安心安全な農畜産物の生産</li> <li>交流型農業の推進</li> </ul>	
4	林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林施業の充実</li> <li>林業の振興</li> <li>販売ルートの確保(ブランド化)</li> </ul>	<p>林業の振興の将来展望として、ブランド化の推進のほかに販売ルートの確保を明記すべきではないか～販売ルートの確保については、木材の有効活用も視野に入れたものを検討したい。</p>

水産業関係

	検討項目	将来展望の主な内容(項目)	主な意見(確認事項)
1	港湾	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方港湾瀬棚港の整備、機能充実</li> <li>静穏海域での増養殖事業への活用</li> </ul>	
2	漁港・漁業生産基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁港の整備</li> <li>魚場造成による生産基盤整備</li> <li>大成水産種苗育成センターの充実</li> </ul>	
3	漁業基盤・経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>増養殖、資源管理の推進</li> <li>種苗放流事業の推進</li> <li>経営近代化対策</li> <li>漁業団体の支援</li> <li>担い手対策</li> </ul>	
4	海岸保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁港高潮対策</li> </ul>	<p>太櫓海岸の浸食については生活環境専門部会の項目で整理している。</p>

商工観光関係

	検討項目	将来展望の主な内容(項目)	主な意見(確認事項)
--	------	---------------	------------

1	エネルギー資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉施設の整備、維持管理</li> <li>新エネルギーの導入</li> </ul>	新エネルギーについて、新たな計画等はあるのか～将来的な取り組みを想定しているが、現時点ではない。
2	企業誘致・勤労者（雇用）対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致の促進</li> <li>勤労者対策の充実</li> <li>雇用対策</li> </ul>	季節勤労者援護相談所はどのような内容で考えているのか～就業に対する相談や情報提供などの支援を充実させたい。
3	商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域商業の育成</li> <li>商店街整備</li> <li>商業団体の支援、連携</li> <li>担い手対策</li> </ul>	
4	観光・特産品	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源、施設の整備、有効活用</li> <li>観光振興の強化</li> <li>観光団体の育成、支援</li> <li>イベントの推進</li> <li>特産品の開発、販路拡大</li> </ul>	
5	自然保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境の保護、育成</li> <li>自然に親しむ環境づくり</li> </ul>	

#### 行財政・まちづくり関係

	検討項目	将来展望の主な内容(項目)	主な意見(確認事項)
1	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な行政改革の推進</li> <li>職員の資質の向上</li> </ul>	せたな町の職員数の今後の方針は～合併時338人に対し現在308人。同規模の町と比較して80人程度多い。約16億円の人件費を抑えるため、退職者の不補充等を行い、将来的には200人程度の職員数としたい。
2	財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>健全な財政基盤の確立</li> <li>歳出削減の徹底</li> </ul>	
3	広域行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部事務組合(衛生センター)</li> <li>檜山広域行政組合</li> <li>近隣町との連携強化</li> </ul>	<p>桧山管内も7町になり、熊石が八雲町と合併し分断された形になっているが、今後も現状のままで進めのか～消防は、人口30万人規模での広域体制とする国の指導があるが、地理的条件から困難な状況である。北海道では変更を認めない方針なので現状のまま継続する。</p> <p>関連して、し尿処理の件について、今金町がH23年からし尿のMICS処理を単独で実施する予定であり、今後の方向性について協議が必要である。</p>
4	広報広聴・情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌、ホームページの充実</li> <li>地区懇談会等広聴活動の充実</li> <li>情報公開の推進</li> </ul>	
5	地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり活動への支援</li> <li>住民参加のまちづくり</li> <li>定住促進</li> </ul>	

協議事項(2) 計画本体枠組みの確認

【全体構成案】

編		章			
1	総論	1	計画の考え方	1	計画策定の趣旨
				2	計画策定の視点
				3	計画の構成と期間
				4	計画の進行管理
		2	計画策定の背景	1	せたな町の現況と特性
				2	まちづくりの課題
2	基本構想	1	まちづくりの基本理念		
		2	将来像		
		3	人口の想定		
		4	6つの基本目標		
		5	せたな町総合計画の体系		
3	基本計画 (前期)	基本目標1「健やかに暮らせる福祉のまち」			
				1	保健・医療の充実
				2	地域福祉の推進
				3	子育て支援の推進
				4	高齢者施策の推進
				5	障害者施策の推進
				6	社会保障の充実
		基本目標2「活力に満ちた産業のまち」			
				1	農林業の推進
				2	水産業の推進
				3	商工業の推進
				4	観光の振興
				5	雇用・勤労者対策の推進
		基本目標3「自然と共生する安全なまち」			
				1	環境・景観の保全と創造
				2	公園・緑地・水辺の整備
				3	上下水道の整備
				4	環境衛生対策の推進
				5	消防・防災体制の充実
				6	交通安全・防犯対策の推進
				7	地域エネルギーの活用
		基本目標4「多様な交流を生むにぎわいのある快適なまち」			
				1	調和のとれた土地利用の推進

		2	市街地の整備
		3	住宅対策の推進
		4	道路網の整備
		5	公共交通機関の充実
		6	港湾・漁港の整備
		7	情報ネットワークの充実
基本目標5「豊かな人間性と文化を育むまち」			
		1	生涯学習の推進
		2	学校教育の充実
		3	青少年の健全育成
		4	芸術・文化の振興
		5	スポーツの振興
		6	国際交流の充実と地域間交流の推進
基本目標6「みんなで作るまち」			
		1	新時代のコミュニティ形成
		2	人権尊重のまちづくりの推進
		3	男女共同参画社会の形成
		4	協働のまちづくりの推進
		5	自立した自治体経営の確立
4	実施計画	3年間の各分野ごとの主な事業を掲載	

6つの基本目標は、合併時に作成しました「新町建設計画」の基本施策と同様で考えております。